

報道関係各位

メキシコ、ラテンアメリカ最大級の旅行産業トレードショー  
「ティアンギス・トゥリスティコ 2014」は過去最高の参加者数を記録！  
～前年比 45%増、61 カ国からの参加～

メキシコ観光局は、国内屈指の高級リゾート地として知られるキンタナ・ロー州のカンクンで行われていたラテンアメリカ最大級の旅行産業トレードショー「ティアンギス・トゥリスティコ 2014」が過去最高の参加者数を記録し、5月9日に閉会したことを発表しました。



ティアンギスは同国の旅行産業の活性化を目的としたイベントで、今回が 39 回目となります。メイン会場であるラカム・センターでは、各州政府や地域、航空会社などによるプレゼンテーションや、サプライヤーらによる商談などが行われました。期間中、5 大陸 61 カ国から来墨した 847 名のバイヤーと 38,182 件の商談が執り行われ、観光セクターからは 32 の連邦区と 120 の企業を含む 152 のパビリオンが出展しました。

メイン会場となったラカム・センターで 9 日に開催された閉会式では、キンタナ・ロー州知事のロベルト・ボルヘ・アングーロ氏、観光大臣のクラウディア・ルイス・マシェウ氏らが、バイヤー数、参加国数、商業施設数、先約商談数、そして、来場者数すべてにおいて想定をはるかに上回る参加者を迎え 39 回目のティアンギスが大成を収めたことを強調しました。

マシェウ氏は、「プエブラ州で開かれた 2013 年と比較し、今年のティアンギスは 45%増の 61 カ国からの参加があり、その中には、メキシコ国内で観光支出が最も高い 20 カ国、そして支出額が最も高い上位 10 カ国も含まれています」と述べました。

また、今年のティアンギスでは、アジア・パシフィックに属する 12 カ国から 31 名のバイヤーが、ラテンアメリカ 11 カ国からは 45 名のバイヤーが参加するなど、あらたにメキシコ観光への需要が見込まれる成長著しい潜在市場を含めた幅広い国や地域からの参加が目立ちました。同時に米国から 174 名、カナダからは 35 名そしてヨーロッパ 25 カ国からは 110 名のバイヤーが集うなど、定着市場からの注目度の高さも見受けられました。

次回 40 回目を迎える 2015 年度のティアンギスは、ゲレロ州のアカプルコで開催される予定です。

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】  
メキシコ観光局広報事務局 (MSL GROUP in Japan 内)  
担当： 大澄／佐藤

Tel: 03-5719-8937 / Fax: 03-5719-8919 / E-mail: mexico\_pr@msljapan.com